



産業・流通分野におけるデジタル トランスフォーメーション特集に寄せて

富士通株式会社 執行役員専務

古田英範

世界のビジネス形態は、サービスエコノミーやシェアリングエコノミーへの移行が進展する一方で、AI（人工知能）やIoTなどの先進技術の進化による第4次産業革命の波が押し寄せています。日本においては、少子高齢化、地方の過疎化、貧富の格差などといった社会的課題の解決と経済の発展を目指し、2016年1月に「超スマート社会（Society 5.0）」を打ち出しております。更に、その実現に向けた産業の目指す姿として、経済産業省は2017年3月に「Connected Industries（つながる産業）」を掲げています。

このような産業の大きなパラダイム転換期中、企業はAIなどのデジタルテクノロジーを活用し、新たな付加価値や製品・サービスを創出するデジタルトランスフォーメーションを求められています。このデジタルトランスフォーメーションを実現して成果を上げるためには、スキルを持った人材の確保や、リーダーシップの発揮が重要となります。また技術力だけでなく、ビジネスや業界を理解し、ビジョンや戦略の親和性があるテクノロジーパートナーとの共創も必要になります。

富士通は、これまで製造・流通分野において多くのお客様へのICTによる支援を通じて、幅広い知見とノウハウを積み重ねてきました。この知見とノウハウの更なる共有・活用を目指し、2017年にSE部門の組織再編を行いました。お客様の変革をリードする役割のSEを集結させることにより、分散していた業種・業務ノウハウの連携を強め、ソリューション・テクノロジーの集約に取り組んでおります。これにより、ナレッジとケーパビリティを大幅に増大させ、お客様のデジタルトランスフォーメーションの実現に取り組んでまいります。

製造分野においては、競争力強化を支援するサービスおよび設計から製造、保守までのものづくりのあらゆる情報をつなげるプラットフォームを、ものづくりデジタルプレイス「FUJITSU Manufacturing Industry Solution COLMINA」として2017年7月より提供を開始しました。また、流通分野においては、オムニチャネル対応を革新し、業種・業態を越えた情報とサービスの連携・活用を実現する情報利活用ビジネスプラットフォーム「FUJITSU Retail Solution CHANNEL Value」を提供しています。

今後、富士通は幅広い業種で培った知見・ノウハウや保有する最先端のデジタルテクノロジーをベースに、世界中のパートナー様とともにグローバルなエコシステムを形成・強化し、新しいソリューション・サービスをグローバルに創出していきます。そして、お客様の真のテクノロジーパートナーとして、お客様とともに新しい付加価値を創り出し、大きなパラダイム転換期を乗り越えてまいりたいと考えております。

本特集では、製造・流通分野において、最先端のデジタルテクノロジーを活用して、「人」「モノ」「情報」「ナレッジ」などをつなぐことで新たな付加価値を創造し、お客様のデジタルトランスフォーメーションを支援する取り組みや実践事例、それを支える技術、人材育成を中心にご紹介します。ご高覧いただくとともに、今後とも引き続きご支援・ご指導を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。